

新発田市租税教育推進協議会長賞

病院代が安い理由～それは安心を繋ぐ力～

新発田市立 猿橋中学校 3年 北 悠利さん

僕は病院に行ったとき、大人より自分の支払うお金が少ないことに気づいた。診察や薬代もわずかで済む。最初は「子どもだから安いのかな」と思ったが、調べると税金で支えられている制度だと知った。税が自分の生活に身近に関わっていると実感した。

子どもが病院で少いお金しか払わないのは、子ども医療費助成制度があるからだ。この制度のおかげで病気やけがでも安心して病院に行ける。もし制度がなかったら、親に負担をかけないよう我慢する子もいるかもしれない。そう考えると、安心して病院に通えるのは税のおかげだと思った。

税は病院だけでなく、学校の校舎や教科書、道路や公園、消防や警察、災害の復旧など、生活のあらゆる場面で使われている。僕が普段「当たり前」だと思っていることの多くは、税によって支えられている。

医療や教育に税が使われることは、とても大切だ。体が健康であること、学ぶ環境が整っていることは、未来に向かって成長する土台になる。税は、その土台を作ってくれているのだと思う。

私はただ、「払わされるもの」ではなく、「みんなで助け合う仕組み」だと分かった。子どもの医療を支えてくれるのは、働く大人たちが納めてくれる税のおかげだ。そして将来、自分が税を納めるようになったら、今度は次の世代を支える立場になる。世代を超えて助け合うのが税の役割だと思う。

もちろん、税金は無限ではない。無駄遣いせず、みんなが安心して暮らせるように使うことが大切だ。ニュースで「税の使い道」が議論されているのを見たことがある。僕はまだ中学生で直接意見は少ないが、納められた税が誰かの役に立つように使われてほしいと思う。

病院代が安いのは、ただ「得をしている」からではない。社会のみんなが支え合っているからこそ成り立っている。僕はこのことを知ってから、病院に行くときも「多くの人に助けられているんだ。」という気持ちを持つようになった。そして、いつか自分も働いて税を納めるようになったとき、今の自分のように安心して医療を受けられる子どもたちを支えていきたいと思う。

税は僕にとって、以前は難しい言葉の一つにすぎなかった。しかし今では、「安心をつなぐ大切な仕組み」として身近に感じられるようになった。税のおかげで僕たちは学び、守られ、未来へ進んでいくことができる。だからこそ、僕はこれからも税について学び、自分も社会の一員として役割を果たしていきたい。そして、安心をつなぐ税を大切にしていきたいと思う。